

※出品作品の写真



「雪橋」 徳田佳世×嘉戸浩×須田悦弘



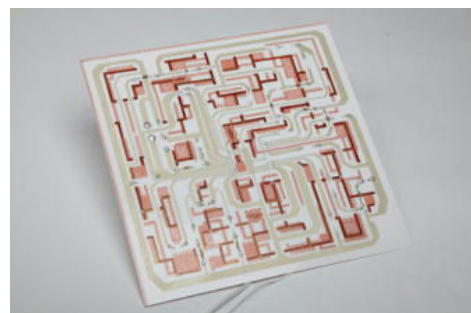
「Erde」南條史生×藤森洋一×栗林隆



「Life size polar bear in papier mache」
N I G O ®×橋本彰一×片山正通



「光器」 藤原ヒロシ×新里明士×宮島達男



「セラミックスピーカー」秋元雄史×見附正康×佐藤オオキ

上記5作品©JUNICHI TAKAHASHI/TAKE ACTION FOUNDATION



「犬頭巾W」中田英寿×植葉香澄×奈良美智

プレス・リリース
PRESS RELEASE

特別展 REVALUE NIPPON PROJECT
中田英寿、現代工芸と出会う
—陶と和紙

平成24年4月28日(土)～6月10日(日)



「NORTHERN」と中田英寿 (TAKE ACTION FOUNDATION代表理事)

茨城県陶芸美術館

IBARAKI CERAMIC ART MUSEUM

〒309-1611 茨城県笠間市笠間2345番地(笠間芸術の森公園内)
TEL 0296-70-0011 / FAX 0296-70-0012
<http://www.tougei.museum.ibk.ed.jp/>

※ 写真のデータが必要な方は広報担当へご連絡ください。
「犬頭巾W」を除く上記5作品写真を掲載する際には、
クレジット ©JUNICHI TAKAHASHI/TAKE ACTION FOUNDATION を併記してください。

1 展覧会名

特別展 REVALUE NIPPON PROJECT 中田英寿、現代工芸と出会う — 陶と和紙

2 開催趣旨

A：一言でいうと(171字)

REVALUE NIPPON PROJECTは、日本の伝統文化をより多くの人に知ってもらおうきっかけをつくり、文化の継承・発展を促したいという中田英寿氏の思いから生まれました。同プロジェクト2回目となる今回のテーマは「和紙」。和紙作家と多彩なジャンルの専門家とによる5組のコラボレーションから制作された作品を紹介します。第1回目のテーマ「陶芸」により制作された作品も併せて展示します。

B：もう少し丁寧にいうと(229字)

元プロサッカー選手の中田英寿氏が代表を務める(財)TAKE ACTION FOUNDATIONが立ち上げたREVALUE NIPPON PROJECT。その目的は、日本の伝統文化をより多くの人に知ってもらおう「きっかけ」をつくり、文化の継承・発展を促すことにあります。同プロジェクト2回目となる今回のテーマは「和紙」。和紙作家と多彩なジャンルの専門家によるコラボレーションから、従来の工芸のイメージにとらわれない作品が制作されました。これら5組のコラボレーション作品に加え、第1回目の「陶芸」をテーマに制作された作品も併せて展示します。

C：詳細にいうと(419字)

REVALUE NIPPON PROJECTは、元プロサッカー選手の中田英寿氏が代表理事を務める(財)TAKE ACTION FOUNDATIONが、日本の伝統文化をより多くの人に知ってもらおう「きっかけ」をつくり、新たな価値を見出すことで伝統文化の継承・発展を促すことを目的として、2009年に立ち上げたプロジェクトです。

このプロジェクトに込められた中田氏の思いは、開館当初から一貫して『伝統工芸と新しい造形美術』をテーマにより多くの人々に工芸美術のすばらしさを紹介することを主な目的としてきた、茨城県陶芸美術館の運営趣旨と相通じるものです。

当プロジェクトにおける2011年度のテーマは「和紙」。若手和紙作家と国内外で活躍する多彩なジャンルの専門家による、5組の素晴らしいコラボレーションが実現しました。

本展では、今回の「和紙」コラボ作品に加え、1回目のプロジェクトで制作された陶芸作品、出品アーティストの参考作品と合わせて約50点を紹介します。世界に誇る日本の伝統的な技術と現代アートの融合による新たな魅力をお楽しみください。

3 展示構成 (出品作家・クリエイター)

< 和紙 >

- COLLABORATION 1 小山薫堂 (放送作家・脚本家) × 佐藤友佳理 (五十崎和紙作家) × 隈研吾 (建築家、東京大学 教授)
COLLABORATION 2 徳田佳世 (京都造形芸術大学 キュレトリアルディレクター) × 嘉戸 浩 (唐紙職人「かみ添」主宰) × 須田悦弘 (美術家)
COLLABORATION 3 NIGO ® (クリエイティブ・メーカー) × 橋本彰一 (デコ屋敷大黒屋21代目) × 片山正通 (インテリアデザイナー)
COLLABORATION 4 南條史生 (森美術館館長) × 藤森洋一 (アワガミファクトリー代表) × 栗林 隆 (現代アーティスト)
COLLABORATION 5 中田英寿 (TAKE ACTION FOUNDATION代表理事) × 堀木エリ子 (和紙アーティスト) × 操上和美 (写真家) ・ 森山大道 (写真家) ・ 上田義彦 (写真家) ・ 鈴木理策 (写真家) ・ 蜷川実花 (フォトグラファー・映画監督)

< 現代陶芸 >

- COLLABORATION 1 秋元雄史 (金沢21世紀美術館館長) × 見附正康 (陶芸家) × 佐藤オオキ (アーティスト)
COLLABORATION 2 金子賢治 (茨城県陶芸美術館館長) × 和田 的 (陶芸家) × 佐藤 卓 (アーティスト)
COLLABORATION 3 藤原ヒロシ (音楽プロデューサー) × 新里明士 (陶芸家) × 宮島達男 (アーティスト)
COLLABORATION 4 松岡正剛 (編集工学研究所所長) × 林 恭助 (陶芸家) × 町田 康 (作家)
COLLABORATION 5 中田英寿 (TAKE ACTION FOUNDATION代表理事) × 植葉香澄 (陶芸家) × 奈良美智 (アーティスト)

4 主催等

主 催：茨城県陶芸美術館
共 催：一般財団法人 TAKE ACTION FOUNDATION
協 賛：関彰商事株式会社 (株)常陽銀行
後 援：茨城新聞社、笠間市、笠間市教育委員会、社団法人笠間観光協会、
(財)茨城県サッカー協会

5 会期 平成24年4月28日(土)ー6月10日(日) 39日間

6 開館時間 午前9時30分から午後5時まで(入場は午後4時30分まで)

7 休館日 月曜日 ただし、4月30日は開館

8 会場 茨城県陶芸美術館 2階 県民ギャラリー

9 観覧料

一般300(250)円 高大生250(200)円 小中生150(120)円 コレクション展もご覧いただけます。
()内は20名以上の団体料金。満70歳以上の方、障害者手帳・療育手帳をお持ちの方及び付き添いの方(ただし1人につき1人まで)は無料。
また、企画展「国際鑑賞コレクション 日本陶芸、世界を巡る」4/21(土)~6/17(日)開催のチケットをお持ちの方は特別展、コレクション展も会期中は同時にご覧いただけます。

10 関連行事

- アーティスト&館長トーク (仮題)
日 時：5月13日(日) 午後1時30分から午後3時30分まで(予定)
講 師：佐藤友佳理氏 (五十崎和紙作家)
橋本 彰一氏 (デコ屋敷大黒屋21代目)
和田 的氏 (陶芸家)
※講師の追加、変更がある場合があります。
聞き手：金子 賢治 (茨城県陶芸美術館館長)
場 所：当館1階多目的ホール(入場無料)定員150名
(当日受付・先着順に整理券を発行)
内 容：特別展「REVALUE NIPPON PROJECT 中田英寿、現代工芸と出会うー陶と和紙」関連企画として開催。アーティストとして参加して作品の制作に当たった際のエピソードや2回目となる同プロジェクトに対する思いを講師の方々からお話しいたできます。

11 連絡先

茨城県陶芸美術館
〒309-1611 茨城県笠間市笠間2345番地(笠間芸術の森公園内)
TEL 0296-70-0011 / FAX 0296-70-0012
展覧会担当 学芸課 課長 征矢 眞一(そや・しんいち)
E-Mail soya.siniti@post.ibk.ed.jp
広報担当 企画管理課 副主任学芸主事 田村 美穂子(たむら・みほこ)
E-Mail kouhou@tougei.museum.ibk.ed.jp

12 ホームページ <http://www.tougei.museum.ibk.ed.jp/>

※図版使用に際しての注意

- 展覧会の紹介記事への使用に関して、著作権の使用許諾の申請は当館で処理済みです。
- 作品キャプションを表記のとおり入れてください。
- 展覧会の紹介を主たる目的とする内容にのみご使用いただき、他の目的を主とする記事等へのご使用はご遠慮ください。
- 図版への文字乗せ、トリミング等の一切の加工はご遠慮ください。
- 図版は、データで準備しております。当館、企画管理課 田村までご連絡ください。
(mail : kouhou@tougei.museum.ibk.ed.jp)
- 校正紙をお送りください。